



平成25年3月1日発行

ヒルズ通信

第22号
社会福祉法人 景誠会
特別養護老人ホーム
ヒルズ勝沼

1丁目

「2月の行事」



2月5日ヒルズ勝沼では「節分の豆まき」が行われました。皆様一生懸命鬼に豆をぶつけられていました。皆様のお陰でヒルズ勝沼にも福が訪れることでしょう。

また、2月23日に二丁目では「甘酒作り」を行いました。職員も酒粕から作るの初めてだったので、喜んでいただけるとても心配でしたが、入居者様から「美味しかったよ。」と言って頂き嬉しい気持ちで一杯でした。同時に酒粕をオーブンで焼き、食べるという方法を職員に教わり試してみたところ、なかなかの好評でした。お酒が好きな方には合うとの事なので、一度試してみてはいかがでしょう？

暦の上では春ですが、まだまだ寒い日が続いていますので、入居者様の体調管理には気をつけていきたいと思っています。

(青木 忠)



2丁目

「二丁目より」



寒さの中にも春の足音が聞こえてきます。二丁目では2月5日に節分を行い、二丁目の所にも鬼がやってきました。入居者様全員が西町のフロアーに集まり、そして全員で鬼退治をし、「鬼は外、鬼は外」と大きな声と、新聞紙で作った玉を鬼に向けて投げて、次に福の神の武川勝代様が玉を投げて、鬼退治をすると、鬼は逃げて行き、「福はうち、福はうち」と何回も言う。二丁目には今年一年福の神がいると思います、健康で長寿されたいと思います。

まだまだ寒い日が続くとは思いますが、春の足音がそこまで聞こえています。「春よこい、早くこい。」

(池端 きく江)



3丁目

「お菓子作り」



2月17日、3丁目では入居者様と一緒に「お菓子作り」を行いました。バナナを潰してもらったり、小麦粉を計量してもらったりと「どんな物ができかな？」と言いながら楽しく作業をしました。下準備が終わり、オーブンで焼けば完成です。焼け始めると



に広がって、3時のおやつがとても楽しになりました。3時になり出来上がったお菓子を入居者様一人一人に見て頂いてから、切り分けて食べて頂きました。入居者様が「とても美味しい！」と笑顔で食べている姿を見ると、「次は何を一緒につくろうか？」と思いました。まだまだ寒い日が続く、御家族の皆様にはノロウィルス・インフルエンザ対応で面会制限とご不便をお掛けしておりますが、3丁目はこの様に入居者様・職員とも楽しく過ごせるよう、皆で頑張っています。

(渡邊 秀人)

